

ユニバーサルシートに関する当事者ヒアリングの概要

1. ヒアリング先

項番	分野	実施日・実施方法
①	障害当事者支援	7/3 オンライン実施
②～⑤	障害当事者支援	文書 (団体⇒会員⇒県)
⑥～⑨	重度心身	7/12 対面実施(⑥) + 会員から文書
⑩～⑭	身体障害	文書 (団体⇒構成団体⇒県)
⑮	知的障害	文書 (団体⇒構成団体⇒団体⇒県)

2. ヒアリング結果

シート設置状況に対する現状認識（不足/充足/わからない）

- 「不足している」との意見が大部分であった。
- 「わからない」という意見も一部あったが、「充足している」との意見はなかった。

不足している現状を踏まえた対応や工夫（主なもの）

<事前に調査する>

外出前にシートの設置状況について調べる。(インターネット・電話・下見)

<該当がなかった場合の対応>

団体行動時にはキャンプ用コット（簡易ベッド）を持参する。

トイレの床に持参のシートを敷く。

リクライニングできる車椅子で交換する。

ホテルの部屋のデイ利用、空港の部屋（有料）を借りる。

シートの設置が必要と感じる施設（種別）（絶対欲しい/欲しい/どちらでも/不要/わからない）

- 「全ての施設において設置が必要」とする意見もみられた。

[意見]

排泄は日常行為だから、このことについて我慢が強いられるのはおかしい(⑨)

- 施設種別ごとに回答されたものを確認すると、
 - ・ 「教育文化施設」「医療・福祉施設」は、「絶対に欲しい」との意見が大部分
 - ・ 「運動施設」「興行・遊興施設」「宿泊施設」「旅客施設」は、「絶対欲しい」という意見が多くみられたが、「欲しい」とする意見もあった。

- ・ 「商業施設」「公衆浴場」「展示施設」は、「欲しい」とする意見が多かった。
ただし、「商業施設」については、示した施設種別以外で設置が必要と考える施設として、「デパート」「ショッピングモール」との意見もあり、別物と認識されていた可能性もある。

- また、施設種別ごとではなく、利用目的・利用形態に着目した意見もあった。

[意見]

どの地域にも必ずある役所や図書館、旅客施設など。地域の目印となる場所で、あそこに行けば必要な設備がある、という状況ができるとよい。(①)

劇場や映画館など一度入ると出るのが難しくなる施設。(①)

1時間以上過ごすことが予想できる場所には設置されて欲しい。(⑦)

シートの設置が必要と感じる施設（規模）

- 「わからない」という意見や空欄、単に「大きな施設」などの記載も多かったが、具体的な規模に言及している意見では、いずれも 2,000 m²以上としていた。
- また、公民館・病院・社会福祉施設などについては、規模を問わず設置を求めるものもあった。
- なお、鎌倉の小町通のように、小規模な施設が立ち並ぶ観光地などには、駐車場の一面などに区域として設置してもらいたいという声もあった。(⑧)

シートの設置状況に関する情報発信方法について

- 県ホームページや民間アプリなどのデジタルツールのほか、店舗の出入口や案内で表示がされているとよい、という意見が多くあった。
- その他、観光案内のカタログ、駅や駐車場の案内板などでの情報提供を求める声があった。

その他

<管理について>

- シートの金具が錆びているなど危険を感じるものがあった。何のために誰がどのような目的で使用するのか等の周知が必要。(⑩)
- 縦に引き出すタイプは使いづらい。また、使用後にベッドを戻さないことで、車椅子が入れない状況になることもある。(②)

<車椅子利用者用便房について>

- シートもいいと思うが、そもそも車椅子利用者用便房の数が不足している。まずは車椅子利用者用便所の数を増やすべき (①)

<その他>

- 整備基準が変わっても既存施設には適用されない。既存施設にどう作らせるか考えてほしい。